

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: ジアセトンアルコール

製品番号(SDS NO): D001950-1

供給者情報詳細

供給者: 国産化学株式会社

住所: 東京都中央区日本橋本町3丁目1番3号

担当部署: 品質保証部

電話番号: 045-328-1715

FAX: 045-328-1716

e-mail address: cs@kokusan-chem.co.jp

緊急連絡先: 国産化学株式会社 横浜事業所 神奈川県横浜市西区北幸2-8-29

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分 2

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2A

生殖毒性: 区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2(血液、肝臓)

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(麻酔作用)

(注)記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

皮膚刺激

強い眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

臓器の障害のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

注意書き

安全対策

使用前に取扱い説明書入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざけること。一禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- 保護手袋を着用すること。
- 保護手袋及び保護面を着用すること。
- 保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

- 火災の場合: 指定された消火剤を使用すること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

貯蔵

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
- 施錠して保管すること。

廃棄

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

物理的及び化学的危険性

- 非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。
- 高温になると引火、燃焼する恐れがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:

化学物質

化学的特定名: 4-ヒドロキシ-4-メチル-2-ペンタノン

慣用名、別名: ジアセトンアルコール

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	化学式
4-ヒドロキシ-4-メチル-2-ペンタノン	97≦	123-42-2	2-587	C6H12O2

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

4-ヒドロキシ-4-メチル-2-ペンタノン

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

4-ヒドロキシ-4-メチル-2-ペンタノン

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

吸入:咳、咽頭痛。

皮膚:発赤、皮膚の乾燥。吸収される可能性あり!

眼:発赤、痛み。

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、粉末、炭酸ガス、水溶性液体用泡消火剤を使用すること。

周辺設備に適した消火剤を使用する。

特有の危険有害性

58℃以上では、蒸気/空気の爆発性混合気を生じることがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

消火を行う者の保護

防火服/防災服/耐火服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥した土、砂、不燃材料に吸収もしくは覆って容器に移す。

清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

局所排気、全体換気

排気/換気設備を設ける。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

ACGIH(1979) TWA: 50ppm (上気道および眼刺激)

ばく露防止

設備対策

排気/換気設備を設ける。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：液体

色：無色

臭い：特有臭

pH：知見なし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点：168 through 171°C

融点/凝固点：-47°C

引火点：(4-ヒドロキシ-4-メチル-2-ペンタノン)(C.C.) 58°C

自然発火温度：640°C

爆発特性：引火又は爆発範囲

下限：1.8 vol %

上限：6.9 vol %

蒸気圧：0.108 kPa (20 C)

相対蒸気密度(空気=1)：4

20°Cでの蒸気/空気混合気体の相対密度(空気=1)：1.0048

比重/密度：0.93

溶解度

水に対する溶解度：混和する

n-オクタノール/水分分配係数：log Pow-0.14 through 1.03 (cal.)

10. 安定性及び反応性

反応性

分解する。

加熱、燃焼、あるいは酸、塩基、アミンと接触すると、アセトンとメチルアルコールを生じる。

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

58°C以上では、蒸気/空気の爆発性混合気体を生じることがある。

危険有害反応可能性

酸化剤と激しく反応し、引火性/爆発性の気体(水素)を生成する。

避けるべき条件

加熱、混触危険物質との接触

混触危険物質

酸、塩基、酸化性物質、アミン

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、水素

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

ラットLD50 = 4000 mg/kg(SIDS(2000))により、JIS分類基準の区分外(国連分類基準の区分5に該当)とした。

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

ウサギのLD50値 13630/kg(SIDS(2000))、14.5mL/kg(換算値：13500 mg/kg)(PATTY(5th, 2001))に基づき、区分外とした。

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

データ不足。LC0 > 1500 ppm/8h = 2121 ppm/4h(PATTY(5th, 2001))であるが、区分を特定できない。なお、飽和蒸気圧濃度 = 2257 ppmより、ガスの基準値(ppmV)を適用した。

局所効果
皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

ウサギを用いた試験で軽度刺激性(mild irritation)～中等度の刺激性(Moderately irritating)との結果(PATTY(5th, 2001)、SIDS(2000))に基づき、区分2とした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

ウサギを用いた試験で中等度または重度の刺激性(moderate or highly irritating)(SIDS(2000))、また、別のウサギを用いた試験で明らかな眼の刺激と角膜の傷害(significant eye irritation and transient corneal damage)(PATTY(5th, 2001))との結果に基づき、区分2Aとした。なお、EU分類はXi; R36である。

感作性データなし
生殖細胞変異原性

[日本公表根拠データ]

in vivoの試験データがなく分類できない。なお、in vitroの試験では、Ames試験で陰性(SIDS(2000))、NTP DB(access on Apr. 2009)、チャイニーズハムスターの肺細胞(CHL/IU)を用いた染色体異常試験で陰性(PATTY(5th, 2001))の情報がある。

発がん性データなし
生殖毒性

[日本公表根拠データ]

ラットを用いた反復経口投与毒性・生殖発生毒性併合試験で、交配前期間中に1000 mg/kg群の母動物の体重増加量が減少した。同群で生殖能について、受胎率、着床数および着床率の減少傾向がみられ、仔動物の発生については、総出産仔数、分娩率、新生仔数、出生率、哺育4日生存数および哺育4日生存率の減少傾向(SIDS(2000))がみられたので、区分2とした。

催奇形性データなし
短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

ラットに2mL/kg(1860 mg/kg)を経口投与後、溶血作用が数日間持続し、肝臓ではリンパ球の増加に次いで細胞質の混濁腫脹、空胞化、顆粒化が認められ、用量がガイダンス値区分2に相当していることから区分2(血液、肝臓)とした。なおジアセトンアルコールとエタノールの塗料溶剤に3日間ばく露された59歳男性が40日後にネフローゼ症候群を発症し、腎生検により増殖性糸球体腎炎と判明した症例報告(PATTY(5th, 2001))があるが、一例の症例報告であることに加え、混合物ばく露であり本物質ばく露との関連にも言及されていないため分類の根拠としなかった。

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

ヒトの試験で100 ppmを15分間の蒸気ばく露により被験者の大部分が鼻と咽喉の刺激を訴え、別の試験でも400 ppmを15分間のばく露により、鼻および咽喉の刺激、胸部不快感が報告されており(PATTY(5th, 2001))、区分3(気道刺激性)とした。

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

マウス、ラット、ウサギおよびネコに1～3時間吸入ばく露により不穏と興奮の後に傾眠をもたらした(ACGIH(2001))。本物質は本来麻酔薬および抗痙攣剤であり(ACGIH(2001))、主要な全身影響は麻酔作用である(PATTY(5th, 2001))と記されているので、区分3(麻酔作用)とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[会社固有データ]

ラットの反復経口投与毒性・生殖発生毒性併合試験(厚労省報告(Access on April 2009))において、ガイダンス値範囲に相当する用量(100 mg/kg(90日補正:約50 mg/kg/day))で認められた影響は、

雄の腎臓の近位尿細管上皮における硝子滴の増加であるが、ラットの雄特有の所見である可能性が高い。

その他にラットの10日間およびウサギの30日間の経口投与試験の結果が報告されている(PATTY(5th, 2001))が、いずれも古い試験(1928~1948年)データであり詳しい記載がない。また、ラットを用いた6週間の吸入ばく露試験(SIDS(2000))は、ガイドンス値を超える用量で影響が見られたもののカットオフ値付近での影響が不明である。以上よりデータ不足のため「分類できない」とした。

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生毒性(急性)成分データ

[日本公表根拠データ]

魚類(ヒメダカ)での96時間LC50 > 100 mg/L(環境省生態影響試験, 1996, 他)、甲殻類(オオミジンコ)での48時間EC50 > 1000 mg/L(環境省生態影響試験, 1996, 他)、藻類(Pseudokirchneriella subcapitata)での72時間ErC50 > 1000 mg/L(環境省生態影響試験, 1996)であることから、区分外とした。

水生毒性(長期間)成分データ

[日本公表根拠データ]

急性毒性区分外であり、難水溶性ではない(水溶解度=1000000 mg/L(PHYSPROP Database, 2009))ことから、区分外とした。

水溶解度

100 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2005)

残留性・分解性

良分解性(経済産業省:化学物質安全性点検結果等)

生体蓄積性

log Pow=-0.14 through 1.03 (ICSC, 2005)

土壤中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行なって危険有害性のレベルを低い状態にする。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄して関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する事。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号: 1148

品名(国連輸送名):

ジアセトンアルコール

国連分類(輸送における危険有害性クラス): 3

容器等級: II

指針番号: 129

特別規定番号: A3

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Z類)

4-ヒドロキシ-4-メチル-2-ペンタノン

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機溶剤等に該当しない製品

名称表示危険/有害物(令18条)

4-ヒドロキシ-4-メチル-2-ペンタノン

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

4-ヒドロキシ-4-メチル-2-ペンタノン

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

第4類 引火性液体第2石油類水溶性液体 危険等級 III

化審法に該当しない。

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

適用法規情報

海洋汚染防止法: 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)

特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法): 廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)

港則法: その他の危険物・引火性液体類(法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)

道路法: 車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)

輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」

輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認)

輸出貿易管理令別表第1の16の項

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2015 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。